

くすりのしおり

内服剤

2019年07月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力がが必要です。

商品名：テルビナフィン錠 125mg 「イワキ」

主成分：テルビナフィン塩酸塩 (Terbinafine hydrochloride)

剤形：割線を有する白色～淡黄白色の錠剤、直径 9.0mm、厚さ 3.1mm、(表) IW/01

シート記載：(表) TB 125mg / (裏) テルビナフィン錠 125mg 「イワキ」 アリルアミン系経口抗真菌剤



この薬の作用と効果について

真菌（カビ）の代謝を阻害し死滅させる抗真菌作用を持ち、真菌を原因とする皮膚病治療において外用剤で治療できない場合に使います。

通常、深在性皮膚真菌症（白癬性肉芽腫など）、表在性皮膚真菌症（白癬、カンジダ症）の治療に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。肝障害、血液障害、腎障害がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、成人は1回1錠（テルビナフィンとして125mg）を1日1回食後に服用しますが、年齢・症状により適宜増減されます。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・自分では気づかない副作用が発生していないか確認するために、定期的な肝機能検査、血液検査が必要なので、医師の指示に従って定期的に診察を受けてください。
- ・飲み忘れた場合は、気がついたときにできるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次の通常飲む時間まで8時間以内の場合は、忘れた分を飲まずに、1回分をとばしてください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、乾癬様発疹、血清病様反応（蕁麻疹、発熱、関節痛）、発疹、じん麻疹、かゆみ、紅斑、光線過敏症性皮膚炎、顔面浮腫、リンパ節腫脹、多形紅斑、水疱性皮膚炎などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・皮膚や結膜などが黄色くなる、吐き気・嘔吐、全身けん怠感 [重篤な肝障害]
- ・発熱、のどの痛み、皮下出血 [汎血球減少、無顆粒球症、血小板減少]
- ・発熱、皮膚の発疹・水疱、眼の充血や唇のあれ [皮膚粘膜眼症候群、中毒性表皮壊死融解症、急性全身性発疹性膿疱症、紅皮症]
- ・筋肉痛、脱力感、赤褐色尿 [横紋筋融解症]
- ・呼吸困難、紅潮、じん麻疹 [ショック、アナフィラキシー]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。